

飼料用根菜類の品種特性と

栽培上の注意

佐々木俊生

(一) 家畜ビート

家畜ビートの主要品種の特性と、栽培利用上の注意を述べると次の通りです。

1 シュガーマンゴールド

各地で高収量を上げ、現在最も多く栽培されている晩生型の品種で、病害(褐斑病)に強く、肉質も硬いため貯蔵性にも富んでいる。

比較的地力に富んだ肥沃地に適し、多収な品種です。

2 MGM

MGMは、家畜ビート最大の病害「褐斑病」の抵抗性品種として育成され、乾物量、含糖量共に高く、肉質は硬く従って貯蔵性にも富んだ晩生型の品種です。

従って収穫時に

は高蛋白、莖葉の収量も他品種に比べて多い品種です。又、近年色々の利点から急速に普及しつつあるベーパーポット(紙筒移植)栽培には、シュガーマンゴールドと共に晩生型のMGMは最適品種です。

3 バールス

他品種に比べ比較的土壌を選ばず、施肥量によつては地力の劣る瘠地、泥炭地等にも良く育ち多収型の品種ですが、肉質は軟く、水分が多

家畜ビート特性及び品種比較表 (収量は5ヵ年平均) (上野幌育種場)

	根 色		根 形	総重 kg	葉重 kg	生根重 kg	乾物率 %	物収量 kg	比 率 %	糖度指数	IFU 必要量 kg
	地 上	地 下									
シュガーマンゴールド M G	青	白	長紡錘	9,646	2,262	7,384	8.0	591	100	6.9	9.0
バーレスストリーネ M	桃	桃	円錐	8,600	2,290	6,310	11.0	694	117	9.0	7.0
ハーフシュガーレッド	緑	橙	短紡錘	9,652	1,170	8,482	4.9	415	70	4.2	12.0
ハーフシュガーエロー	緑	赤	長内錐	6,064	1,306	4,758	7.5	423	72	6.9	7.5
ハーフシュガーエロー	茶	橙	短紡錘	7,604	1,346	6,258	8.9	469	79	6.5	10.0

品 種 名	根 色		根 形	耐 病 性	備 考
	根 色	肉 色			
スムーズラウンド	紫	黄	円滑	やや強	やや小型
パーブルトップ	紫	白	分岐根多	強	
マゼスチック一号	紫	黄	ク	弱	
グリーントップ	緑	黄色	やや円滑	強	
パールヘルム	緑	黄色	強		
ガム	緑	黄色	強		
イス	緑	黄色	強		

(上野幌育種場原種係)

いため短期貯蔵用の品種です。

4 ハーフシュガーレッド

ハーフシュガー系は、シュガーマンゴールド同様砂糖用ビートの交配種で含糖量高く、特にレッドは肉質は硬く貯蔵性は最も高いが、反面病害(褐斑病)に弱く薬剤散布には他品種以上に注意しなければならぬ。また比較的肥沃地に栽培することが大切です。

5 ハーフシュガーエロー

ハーフシュガーレッド同様に、含糖量は高いが肉質は稍硬く、多収型の品種ですが葉は病害に弱く貯蔵性も弱い方です。

(二) ルタバガ

根菜類中特に貯蔵性が高く寒冷地、高冷地、濃霧地帯に多く栽培され、その主な品種は次の通りです。

1 ウイルヘルムスパイガー

収量、品質共に優れた病害(白腐病、根瘤病)に強く広く各地で栽培されています。

2 スムーズラウンド

ウイル同様各地で栽培されている品種で、根形は滑かでヒゲ根が少ないため利用度は高い。根は稍小型のため栽培本数は他品種に比べ二割位多くすることが大切でルタバガ品種比較表

す。

3 ネムロルタバガ及びマゼスチック一号

特に根圃地方に多く栽培され、耐病性もあり多収品種として栽培されています。ルタバガ栽培上特に注意したいことは、管理作業中根部に傷をつけないようにすることによって、白腐病の防止になります。

(三) 家畜かぶ

多汁生鮮飼料のうちでも土壌や気候を選ばず、その上家畜の嗜好性も良く日数の割には収量もあり、また土地利用上からも大いに栽培したいものです。

1 雪印改良紫丸かぶ(紫)

冷涼な気候を好み生育日数八〇〜九〇日と短いため寒冷地向きの品種です。

2 下総かぶ(青)

暖地では、改良紫丸かぶよりも収量は多いが寒地では晩生のため少なく、生育日数は一〇〇〜一一〇日位で莖葉も多く肉質も硬い品種です。

3 小岩井かぶ(青)

下総かぶの系統で、東北地方から道南にかけて栽培適地で、生育日数九〇〜一〇〇日位で根は紫丸かぶより大きい。